

保幼小中一貫教育の推進方針・学校等再配置計画についての説明会  
 質疑応答要旨(5/16～5/19 3回開催分)・修正版

\* 質問・回答とも要旨を記載しております。  
 本説明会の主旨に係る質問のみ掲載

●ソフト面

No.	種別	発言内容	回答内容
1	質問	期待される効果のところで、「教育課程において一貫性をもった教育ができる」とは具体的にどのようなことでしょうか。また、現状の「一貫性」の課題は、どこにあると考えられていますか。	「一貫性をもった教育」というのは、「一貫した9年間のカリキュラムを作り、小・中学校の先生方で共有し教育にあたること」を、また「専門性のある中学校の先生が小学生を教える」、逆に「きめ細やかな指導を得意とする小学校の先生が中学生を教える」ことで、互いの教職員の得意分野を引き出し、教育を継続していくことをイメージしています。  現状、「小学校の先生が中学校3年の教育を見据えた教育を」、また「中学校の先生が小学校での6年間の学びを見て中学校で教えているのか」というと、必ずしもそうとは言いきれない状況です。 それは各校とも生徒児童数が少なく、国の基準で教職員数が少ない中で、小・中学校の先生方が連携するには制限される部分も多く、連携はしているとは言ものの、「一貫性」とは言えるにまで至っていない状況があります。また、物理的に小・中学校が分かれていることも障壁となっています。
2	質問	従来の教育課程(6-3)と案の教育課程(4-3-2)が異なりますが、急に切り替わること子どもたちに動揺は起こらないかが心配なのですが、その辺りはどのように考えられていますか。	例えば5年生から50分授業の導入や中学校の先生を交えた教科担任制といった授業を展開している事例もあります。これから内容については検討していきますが、小・中学校のつながりが緩やかになるイメージです。 すでに昨年度より中学校の先生が小学生高学年を教えるといった試みを始めており、これからの5年間の間に徐々に新教育課程に近づけていくイメージで、激変する訳ではございません。
3	質問	保幼小中一貫教育推進案⑩の「スタートカリキュラム」とは、どんなものでしょうか。	小学校に入学したときに、すぐに「授業」という形態で始めるのではなく、徐々に授業に慣れていってもらうためのカリキュラム。具体的には生活科という授業で、保育所・幼稚園でやっていた内容を取り入れながら、スムーズに学校生活に馴染んでいってもらうという取り組み。今年度から取り組みを始めています。 反対に保育所・幼稚園では、アプローチカリキュラムというものがあり、目的は同じで、イスに座って話を聞くなど小学校生活の部分を取り入れ、保育所・幼稚園と小学校の橋渡しがスムーズに接続できるように取り組んでいます。
4	質問	今回小中一貫校とする案ですが、モデルにされた学校はあるのですか。また、オブザーバー的な方がおられるのですか。	教育内容がそれぞれ異なりますので一概にこれというものはありません。しかしながら、学年制や一貫校の導入について参考になることは吸収に努めています。これまでに近隣市町(能勢町、池田市、箕面市)、大阪府内や京都府内などへ先生方も含め見学は行っています。 オブザーバーについては、学識経験者として小松先生をお願いしております。現在も静岡、神奈川、千葉で小中一貫校の研究、指導を行っている方です。
5	質問	これからの教育の中身を考えていくにあたり、そこに保護者(会)が関わって行ける場はありますか。	説明会が一定終わった段階で、保護者、地域、学校の代表者等にお集りいただき、課題を整理しつつ、議論する場を設ける予定です。
6	質問	前期・中期・後期と分かれています。が、中学校受験をされる方への対応はどうなるのでしょうか。	学校教育については、学習指導要領というものがあります。これに基づいて教育は行いますので、前期・中期・後期の分類が変わるから中学受験に不利であるということはありません。

7	質問	学力がどうなるのかを心配しています。受験期(後期2年)に「とよの学」に時間を費やすのは、どうなのでしょう。	現行小学3、4年生で地域学習という中でやっており、案でいう前期4年を基本として学習していこうと考えています。その他はその時々、例えば中学校で地方史を学ぶ機会等に「とよの学」を盛り込んでやっていくとも考えています。
8	質問	現在低学年の定員は35人、高学年は40人ですが、同じですか。30人学級など少人数の方が目が届くと思うのですが、そのようなお考えはありますか。	1クラスの定員を基準以下に下げるのは難しく、少人数学級は現時点では考えておりません。教員の加配や教科・習熟度に分けた分割授業などで対応する方法を検討していきたいと思います。
9	意見	東地区と西地区とで保護者も含めて距離感がある。一貫校が始まるまでの間に東西の交流を深めていっていただきたいと思います。	今年度、中学生のクラブ活動の交流を始めます。また小学校でも交流会を模索中です。こういった交流を深めて行く予定です。
10	意見	統合にしても、交流にしても東地区から西地区に行くというイメージがあります。逆もあって、西地区の方が東地区のことを知るといことも大切だと思います。	双方での交流を考えておりますし、中学校のクラブ活動交流も双方で考えております。また、「とよの学」や地域学習、自然体験学習では東地区での活動も考えております。
11	質問	これまでは、小学校と中学校の分類でしたが、案を見ると就学前6年、前期4年、中期3年、後期2年と分類されています。運動会、文化祭等行事のイメージはどんな感じを想定されていますか。	実際の教育活動にあたっておられる保幼、小学校、および中学校の先生方で、今後、こういったものが一番良いのかを議論していく予定ですので、現段階では決まっていません。
12	質問	卒業式などはどうなるのでしょうか。	小学校6年生の卒業式、中学校1年生の入学式については、これまでのように大きなセレモニーとしての開催は想定しておらず、別の形でのセレモニーを考えています。また各段階においてのセレモニー的なものも考えています。なお、小学校6年生での卒業証書授与は行います。
13	質問	東地区はスクールバスが出るということですが、西地区は新光風台など結構距離があると思われませんが、スクールバスは運行されないのですか。	新光風台の一番遠いところまでの距離は3km程度で、徒歩通学の範囲と考えています。 ちなみに文科省で基準としている徒歩通学の範囲は、小学生で4km以内、中学生で6km以内とされています。 東地区においても、スクールバスを運行はしますが、ドアtoドアのようなものではなく、一定距離、バス停まで歩いていただくことを想定しています。
14			【スクールバスを運行している自治体の調査】 4kmを超えないとスクールバスを運行していないところが大半。運行しているところは、特別な理由があるところでした。
15	質問	通学路の安全面をどう考えているのでしょうか。	必要などころへは防犯カメラの設置や照明設置、通学路の設定などハード面は検討していきたいと思います。ソフト面では、今後も見守り隊など地域の方々の協力を得て、これまでと変わらない通学の安全を確保していきたいと考えています。
16	意見	新光風台の遠い児童だと、通学時間が1時間を超えてくると思われれます。現実的に徒歩通学について、支障が出てくるのではないかと思います。	教育委員会の見解は前述したとおりですが、ご意見として伺ったので検討したいと思います。
17	意見	新光風台の低学年の徒歩通学はキツイと思います。新光風台小学校に集合し、光小から吉川中学校までのスクールバス運行を希望します。	

18	質問	通学バスの概要を聞きたい。(出着地、クラブ活動の早朝練習、遅刻のとき、下校時刻が学年により一定でない、座れるのか等)	具体的な内容につきましては、まだ決まっておらず、今後検討していく予定です。 ただ、ドアtoドアのようなものではなく、一定距離、バス停まで歩いていただくことを想定しています。 下校時刻の違い等も検討課題として認識はしています。
19	意見	保護者で送迎の負担がでないような通学バス運行体系(様々な登下校パターンに対応できるような)を協議会で考えていただけたら有り難いです。	先進地の視察も行っています。その辺りも先行事例も参考にしながら検討していきたいと思えます。
20	意見	通学バスの運行ルート、停留所など十分に配慮して欲しい。(渋滞等発生しないようになど)	ご要望など園・所・学校毎に出していただけると検討の材料になるので有り難いです。
21	質問	学童保育について、これまで通りでしょうか。	これまで通り、6年生まで学童保育は行います。定員も変更は考えていません。 また、東地区でも学童保育は実施する予定です。
22	質問	学童保育の場所は、居住地で東地区と西地区とに分けるようなイメージでしょうか。	基本的には居住地別と考えていますが、ご家庭の事情により選択していただければ良いと思えます。
23	質問	西地区に建設すること自体に疑問。東地区が寂(さび)れるのではないのでしょうか。東地区の者だけ負担がかかるのではないですか。	昨年度の出生数は49名、今後単純に1校あたり1学年で12~3名という状況です。きめ細やかな教育という面では良いかも知れませんが、クラス替えもできない状況で、音楽や体育の授業などは非常に制限されてしまいます。 5年先、10年先の子どもの育ちを考えたとき、一定の規模、切磋琢磨できる環境が必要であると感じられます。
24	意見	各校合併に伴うPTAなどの役員について、役所主体で方向性を出して欲しい。(東地区:現在ポイント制)	PTA会長会・役員会で課題点としてでており、今後議論を深めていく予定です。また、再配置の準備委員会を立ち上げ、その中で協議されて、方向性をだしてもらおうように考えます。
25	質問	子育てに優しい施策や子育て世代が入ってしやすい取り組みはされているのでしょうか。	平成26年度から「すくすく訪問」実施や医療費助成制度の拡充、一時預かり事業、多子世帯保育料の軽減など子育てに優しい施策に取り組んでいます。 今年度からは子育て包括支援センターが組織され、出産前からケアしていきます。 いま町では、シティープロモーションで「豊能町」を選択してもらえるようブランドメッセージや「とよののポータル」サイト開設などで町の魅力発信や定住移住促進に努めています。
26	意見	統合により今までできなかったクラブ活動(野球やサッカーほか)も出来るようになったり、活性化することを期待しています。また、専門の先生等来てもらうなど力を入れてもらえることを期待しています。	これまでに生徒数不足により廃部になったクラブの復活や活性化に我々も期待しています。
27	質問	制服はどうなりますか。	準備会等設置し、そちらで制服をはじめ詳細は決めて行く方針です。

●ハード面

No.	種別	発言内容	回答内容
28	質問	吉川中学校で予定しているが、校舎は建て替わるのでしょうか。	新築を計画しています。
29	質問	ハード面において、敷地や新設の校舎等について現在どの程度まで話が進んでいるのでしょうか。	今年度、基本計画を立てる予定です。 敷地については、必要に応じて周辺の公共用地で賄える見込みです。校舎については、全くこれから検討していくという段階です。

30	質問	新築の校舎に立て替えるということですが、その間、仮校舎などで対応するのでしょうか。	今年度、基本計画を立てる予定。その中で費用対効果や生徒にとってより良い方法を今後検討していく予定です。現段階では未定です。
31	質問	認定こども園は一貫校の敷地内にできるのでしょうか。	今年度、基本計画を立てる予定。まだ決まっていません。
32	質問	東地区の学童保育の場所はいまのところの予定ですか。	東能勢小学校は廃校となりますので、別の場所を想定しています。
33	質問	敷地について「周辺も含めて」とは、どのような範囲をお考えなのでしょうか。	現中学校敷地内で敷地が足りないということであれば、総合駐車場、ふれあい広場、吉川支所等もその敷地の対象となり得るということです。今後、基本計画の段階で検討していくこととなります。
34	質問	統廃合後、廃校となる学校の用途は決まっていますか。	跡地利用については、今年度、公共施設再配置検討委員会を町部局で立ち上げて、今後検討していくことになっています。いまの段階では、跡地利用については決まっていません。
35	質問	いま東地区で地域振興策(道の駅建設など)が講じられようとしています。今後、人口が増えれば、東西1校ずつ、みたいなこともあり得るのでしょうか。	人口推計より計画しており、建設する建物も、ある程度の生徒児童数増減に対応できるものとする計画です。東西1校ずつというようなことは考えていません。
36	質問	校舎などまだ何も決まっていない状態のようですが、平成35年4月開校予定は変わることはないのでしょうか。	今年度中に基本計画を策定し、来年度に基本設計を作る。平成32年度に実施設計をして、33～34年度で建設というスケジュール感でおります。
37	質問	このプロジェクトで多額の費用が必要となりますが、住民の負担増とかもあり得るのでしょうか。	今回のプロジェクトにより町民税が増額されたり、諸サービスの低下を招くといったことには直接関わるものではありません。
38	意見	現吉川中学校正門前の混雑、渋滞も検討しなければならないと考えます。	学校への出入りについて、現正門の位置では交通の混雑を招く恐れが予想されるため、別の場所で計画しています。
39	意見	新築の校舎は、快適な校舎にして欲しい。(冷暖房完備、バリアフリーなど)	冷暖房は完備と考えていただいて良いです。バリアフリーに関しても考慮したものとする予定です。
40	質問	新校舎では冷暖房完備というところであるが、保護者の負担は増えるのでしょうか。	設備に関して、保護者に負担を強いることはございません。